

子ども医療費無料化を求める署名

4千筆超を姫路市議会に提出

協会姫路・西播支部も協力する、姫路市に中学校卒業までの医療費無料化を求める請願署名は、11月末日までの2カ月足らずで4212筆が集まった。

同署名を集める「子どもの医療費無料化を求める会」は12月2日、姫路市議会に集まった署名を提出。

伊藤大典(無所属)・井川一善(無所属)・谷川真由美(共産)・入江次郎(共産)の4市議が紹介議員となり、12月市議会で審議される予定。

姫路・西播支部は、署名趣旨に賛同し、姫路市内会員の先生方に11月上旬に署名用紙を送付し、12月9日までに411筆が寄せられている。



第238回幹事会から

11月17日(木) 於 姫路じばさんびる 参加 6人

- ◆姫路・西播支部の会員数 648人(医科 443人、歯科 205人)
- ◆情勢と運動対策、その他 医療経済実態調査結果、次回診療報酬改定について、意見交換を行った。
- ◆支部の活動・企画 診療報酬・介護報酬改定研究会(3月後半予定)など
幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。
お問い合わせは、TEL 078-393-1807 小西まで。

「クイズで考える日本の医療」

「安心して受けられる医療の実現を求める請願」など

宣伝グッズをご活用ください!



署名用紙



クイズチラシ



子ども医療費ポスター

協会は医療への関心を高め、国民皆保険充実の世論を盛り上げるため、クイズに答えると景品が当たる「クイズで考える日本の医療」やパンフレット・患者署名など、さまざまな宣伝グッズを用意している。ぜひご活用いただきたい。

お問い合わせ、追加注文は、TEL 078-393-1807 まで

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.180 2011年12月15日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

秋のバスツアーを開催

京の雰囲気ゆったり楽しむ



聖護院門跡で記念写真

姫路・西播支部は11月13日、恒例となった京都への秋のバスツアー「甘春堂の和菓子作り体験と大徳寺高桐院で紅葉狩り」を開催。会員・スタッフ・家族ら23人が参加した。(2面に感想文)

秋のバスツアー 感想文

ガラシャの壮絶な生き様に思いはせ

うららかな秋の一日、協会姫路・西播支部恒例のバス旅行に参加しました。車窓から古都の風景を楽しむうち、はや紫野・大徳寺に到着。歴史に不明な私でも名を聞いたことのある、細川ガラシャゆかりの塔頭を見学しました。

父・明智光秀の謀反のため「逆臣の娘」となり、夫の手で幽閉される運命に。信仰を求めてカトリックに帰依するも、戦国の激動で徳川方についた夫の足手まといになるまいと、屋敷に火を放ち、自害を遂げたといひます。戦乱の世では、姫君といえど壮絶な生き様だったなど、しばし歴史に思いをはせました。

紅葉には少し早かったのですが、美しい庭園を散策した後は、目にも鮮やかな京料理。聖護院・御殿荘で、次々と運ばれてくる温かい料理を堪能しました。

フリータイムは、華やかな朱塗りの楼閣、平安神宮へ足を伸ばし、また、足湯で疲れを癒やし、お買い物も楽しみました。

最後は、甘春堂にて熟練の和菓子職人の指導による生菓子作りにチャレンジ。

天候にも恵まれ、楽しい京都日帰りの旅でした。ありがとうございました。

【相生市・河原医院 職員 西脇加代子】



(上)ガラシャ夫妻の墓がある大徳寺高桐院 (下)手作りの和菓子をいただきます



ラジオ関西「寺谷一紀と い・しょく・じゅう」

協会出演番組 **医療知ろう!** AM 558 KHz

毎週木曜日 番組 PM7:00 ~ 8:00
放送中 コーナー 7:30 頃から

西播社保協自治体キャラバン 5市6町と懇談

子ども医療費助成

市川町・上郡町・佐用町で拡充へ

姫路・西播支部も加盟する西播社会保障推進協議会(西播社保協、会長・宗実琴子姫路・西播支部長)は、自治体訪問(自治体キャラバン)を実施。11月7日~11日、15日の6日間かけて、西播地域の5市6町すべてを訪問し、首長・担当職員



14人が参加した赤穂市との懇談

らと懇談を行った。協会など加盟各団体から、のべ163人が参加した。

懇談は、事前に送付し文書回答を得たアンケートと要望書の内容に基づき、西播社保協が質問し、自治体が回答後、意見交換する形で行った。市川町、福崎町、神河町では、町長が出席し、町政について懇談することができた。

西播社保協は各市町に対し、「税と社会保障の一体改革」などで「自助」「共助」一助け合いの考えがふりまかれ、自治体にも浸透を見せているもとで、国民健康保険の理念は、憲法25条の理念に基づく社会保障であり、相扶共済ではないことを時間をとって説明した。福崎町や相生市では、「昨年の要望を受け、国保パンフレットを改善した」との回答が得られた。

中学校3年生まで無料が広がる子ども医療費助成に関しては、市川町・上郡町・佐用町が拡充を明言。市川町・佐用町では、来年度から入院・通院とも中学校3年生まで無料に拡充したいと回答した。一方、3歳未満まで無料の姫路市では、市独自助成に所得制限を設けていないことを強調したが、今後徐々に拡充を進めたいと消極的対応であった。

姫路市 「2円預金差し押さえ」改めず

国保保険料滞納者に対し、姫路市が2円や39円など些少な金額の預金まで差し押さえしていたことが、西播社保協の情報開示請求で明らかになっている。生活困窮者の預金を差し押さえるべきではないと要請した西播社保協に対し、姫路市は「面談を行って納付を促すとともに、差し押さえについても事前に通知している」「通帳を差し押さえた結果、その金額が些少だったということだ」などと改めないとの考えを表明。十分な意見交換が行えなかったため、西播社保協は改めて懇談を申し入れる予定をしている。